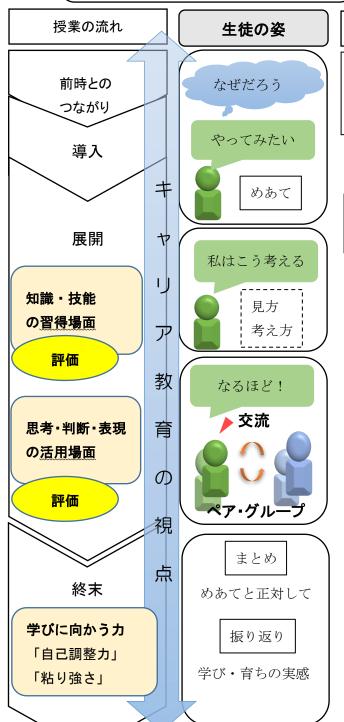
船浦中学校の授業スタンダード

視点

「主体的・対話的で深い学び」の実現 「個」と「集団」の学びの往還 重点

自分の考えを持つ力 繋ぐ・繋がる・つなげる力 チャレンジする力の育成



振り返りシートの活用

教師の働きかけ

【導入】

生徒の「問い」や思い・願いを引き出し、課題意識を持たせる。興味・関心、好奇心の向上

<u>めあて</u>(又は課題)を提示し、「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確にする。

【展開(前)】

各教科等の「見方・考え方」を働かせる。

「見通し」など、解決への手掛かりを持たせる。 各教科等に応じた「見方・考え方」を働かせて 自分なりの考えを持たせる。

【展開(後)】

思いや考えを「広げ深め」させる。

ペア・グループでの「交流」を通して、思考の整理、考えの見直し、広げることの意義を実感させる。新たな気づきや発想を持たせる。

【評価】形成的評価·総括的評価

活動の中での子どもの「良さ」を伝える(形成的評価)

→自己肯定感の高まり、学び育ちの実感

見取り・・・生徒の様子、達成状況把握→授業改善へ

【終末】

「何を学習したか」を実感させる。 振り返りを促し、学びを実感させる

めあてと正対したまとめ「充実感、達成感、有用感」 振り返り ~ということができた。~ということ がまだわからない。など視点を明確に。

次時とのつながり

振り返りの視点 ①自己の変容:「~が分かった。」 ②交流:「○○の意見がよかった。」 ③学習行動:「積極的に○○できた。」 ④探究・課題:「もっと・・・してみたい。」